

魚類の初期生活段階毒性試験

OECD テストガイドライン 210

- 魚類の初期生活段階毒性試験(OECD TG 210)は、魚類の受精卵から稚魚までの期間、化学物質を含む試験液にばく露し、生死及び成長等に及ぼす影響を確認する長期毒性試験です。
- 長期毒性試験がリスク評価のための試験として重要視されるようになっていきます。

CERIでは、お客様の目的に応じた試験設計をご提案します。

- OECDテストガイドラインに準拠し、GLP適合試験として実施可能です。
- ガイドライン収載の推奨魚種(淡水魚)全てに対応可能です。
- GHS分類のための簡易的な設計(簡易試験)も対応可能です。
- 単一物質、混合物といったサンプルの特性、データ利用目的などより、最適な試験設計をご提案します。

CERIで対応可能なOECD TG 210の推奨魚種

温水魚	ゼブラフィッシュ (<i>Danio rerio</i>) メダカ (<i>Oryzias latipes</i>) ファットヘッドミノー (<i>Pimephales promelas</i>)
冷水魚	ニジマス (<i>Oncorhynchus mykiss</i>)



ゼブラフィッシュ



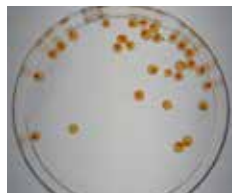
メダカ



ファットヘッドミノー



ゼブラフィッシュ胚



ニジマス受精卵

その他の長期
毒性試験

- 稚魚成長試験 (TG 215)
 - ミジンコ繁殖試験 (TG 211)
 - ユスリカ底質毒性試験 (TG 218)
- 全てGLP適合試験として実施可能です。

水環境の長期毒性試験は **CERI** にお任せください

CERI

一般財団法人 化学物質評価研究機構

Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

■東京/〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル7F
TEL.03(5804)6134 FAX.03(5804)6140

■大阪/〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-5-55
TEL.06(6744)2045 FAX.06(6744)2052

URL

<https://www.cerij.or.jp>

E-mail

cbc@ceri.jp